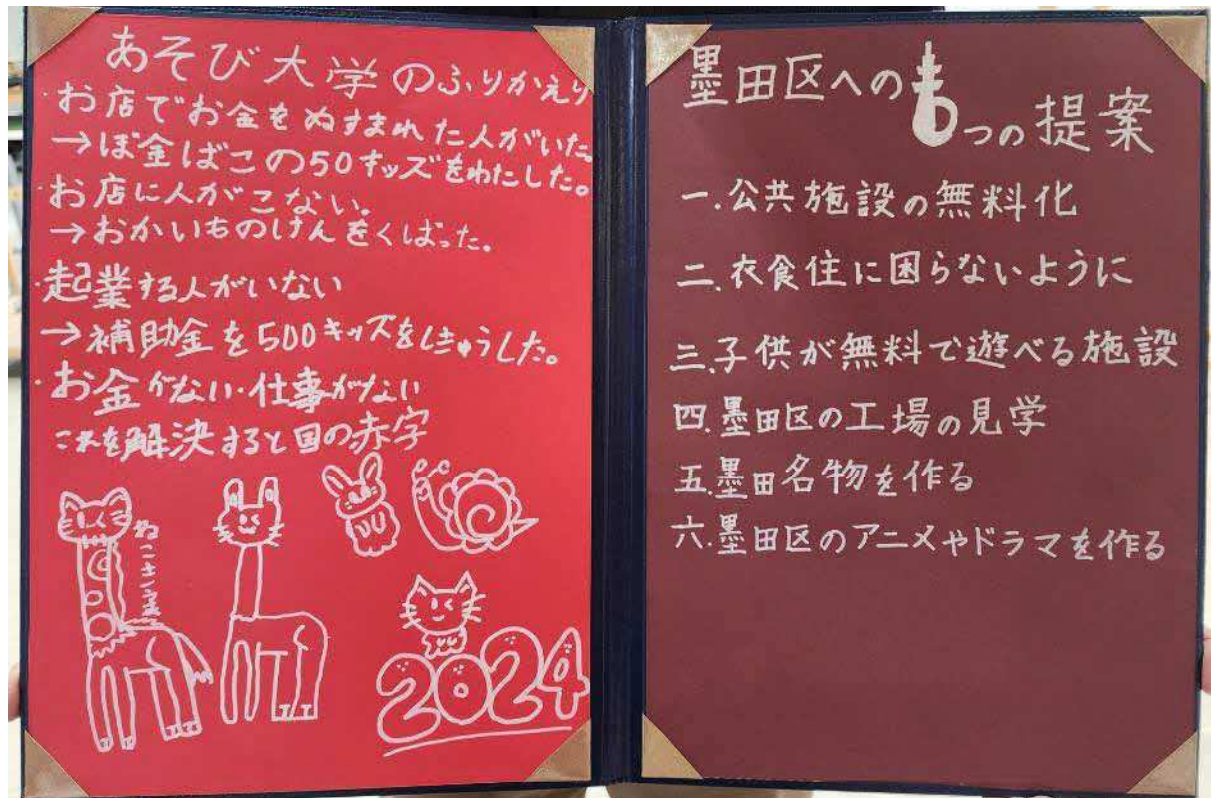


墨田区基本構想にむけた 子ども達からの「墨田区への6つの提案」

千葉大学墨田サテライトキャンパス dri 教授 原寛道



2024/09/29 墨田区長にあそび大学こどもの国の子ども議員から提出した提案書

1. 目的

墨田区の10年後の目指すべき将来の姿を描く、新たな墨田区基本構想は、子どもの視点や自由な意見を取り入れながら策定することとしている。

そこで、本取組は、千葉大学墨田サテライトキャンパスを拠点にNP0遊び研究会が主体となっていて行っている「なつのあそび大学：こどもの国」において、効果的な子どもの意見聴取の手法を検討し、新たな基本構想の反映に向けて、子どもの意見の抽出を試みる。

2. 基本方針

こども基本法が施行されたことがきっかけとなり、これまでも子どもの意見を様々な大人の取組に活かすことが行われてきているが、さらにその動きは加速してきている。

しかしながら、大人の社会に慣れていない子ども達にとって、大人の社会に対して意見を正しく表現することは極めて難しいことである。結果的に、大人側が子どもの意見を正しく抽出することが出来ないまま、形式的に実行してしまい、子どもの本心とは異なる意見が施策に反映される危惧が指摘されている。

そこで、本取組では、可能な限り子どもが自分たちの経験に基づいて、本心から意見を聞き出すことを基本方針とした。

3、取組概要

墨田区の基本構想は長い期間にわたり墨田区の根幹となるものである。子ども達にとって、このことの意味合いを理解して、子ども立場から抽象的に思考をすることは難しく、可能であっても、大人の社会を学んだままの2次情報の組み合わせで語ることとなる。

そこで、できるだけ具体的に基本構想の趣旨に合った思考が出来るように、子ども達が自分たちの社会をつくる体験をし、その体験を通じて得られた感性から、自分たちの街がどうであつたら良いか、考えられる機会を設けた。

つまり、今年で3年目の開催となる、子どもによる子どもの自治の街づくりの「なつのあそび大学」を仮想の墨田区と捉え、企画の最初から子ども達が関わり、自治を行う「子ども議員」を希望する子ども達が中心となって、自分たちの街を考える深い体験をしてもらった。そして、その体験のあと、改めて、墨田区に対する希望を思考する場を設定することとした。

結果的に、深い思考をする子どもは、代表としての子ども達であり、背景には参加延べ人数800名を超える子どもたちとの関係によって得た体験に裏打ちされた言葉を引き出すことができた。

4、取組詳細

(1) 2024年の「なつのあそび大学こどもの国」

8月19日から24日にかけて、千葉大学墨田サテライトキャンパス1階にて行われた。告知は、全体参加者および、こどもの国企画メンバーに分けて行った。チラシを、墨田区内すべての小中学校に配布依頼をし、区内のすべての児童生徒の手に渡っている。

結果的に、参加者実態は以下のようにになっている。

・企画会議

14日：12人

15日：議員3人+国づくり（みせづくり）8人

16日：議員3人+国づくり（みせづくり）8人

・本番

19日：165人

20日：155人

21日：136人

22日：138人

23日：159人

24日：68人+企画メンバー8人

参加延べ人数821人



(2) こどもの国企画メンバー

企画メンバーで応募に集まったこどもは、小学5年生8名+小学6年生4名+中学1年生1名の合計13名。そのうち、こどもの国の根幹を決定する議員に3名が立候補し、そのほかの10名は国を構成する街の具体的な建設作業を担当することとなった。議員3名の構成は中学1年+小学6年+小学5年がそれぞれ1名ずつとなり、バランスのとれた構成となった。

(3) こどもの国実施前の検討：企画会議

企画会議を8月14/15/16日の3日間。それぞれ13時から16時の3時間かけて行った。

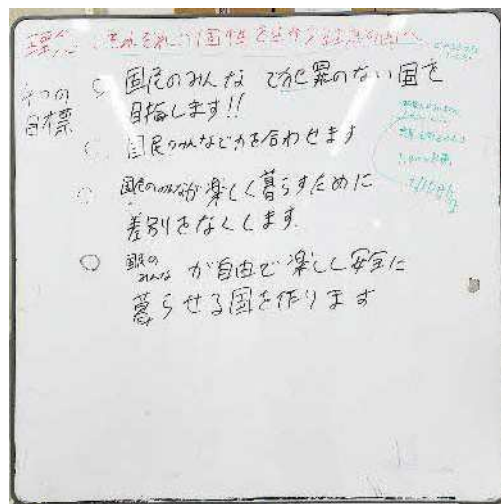
墨田区の基本構想を学んだ後、自分たちがこれからつくる国の基本理念と、理念を実現するための具体的な目標を定めた。

・基本理念

「それぞれの個性を活かす理想の国へ」

・4つの目標

- ① 国民のみんなで犯罪のない国を目指します！！
- ② 国民のみんなで力を合わせます
- ③ 国民のみんなが楽しく暮らすために差別をなくします
- ④ 国民のみんなが自由に楽しく安全に暮らせる国を作ります

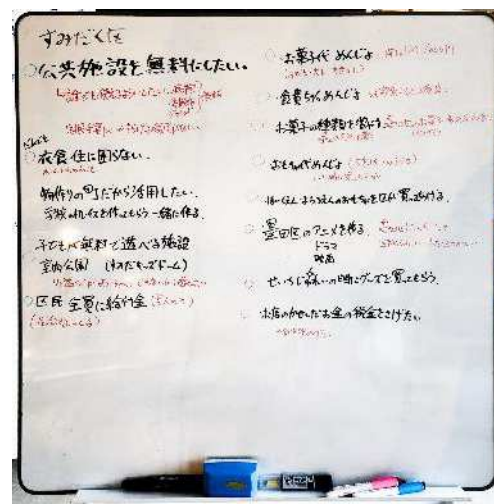


(4) こどもの国実施直後

こどもの国会期の最終日である8月24日は、一般参加者は全体の片付けの日であった。

一方、議員たちは5日間の振り返りをしたのち、改めて、墨田区基本構想到反映したい要素を話し合った。9時から12時のおよそ3時間の話し合いから、以下のような意見が出てきた。

- ・公共施設を無料にしたい：誰でも使えるように、区民全員が安らげる場所がほしい
- ・誰でも衣食住に困らない：ホームレスの人でも
- ・物づくりの町だから活用したい
- ・学校の机椅子を作ってもら、一緒に作る
- ・こどもが無料で遊べる施設
- ・室内公園（すみだキッズドーム）：外遊びが雨や暑くてできないから遊びたい
- ・区民全員に給付金：生活に困っている、善人のみ
- ・お菓子代免除：こども大人誰でも、1年に1回1000円まで
- ・食費5%免除：5人以上の家族に
- ・お菓子の種類を増やす：墨田区のお菓子、名物に（スミグミなど）
- ・おもちゃ代免除：5歳以下のこども、小さい時に
- ・保育園幼稚園のおもちゃを区が買ってあげる
- ・墨田区のアニメ（ドラマ映画）をつくる
- ・聖地巡礼の時にグッズを買ってもら
- ・お店のかせいだお金の税金を下げたい：給料を上げたい



(5) こどもの国報告会まとめ

こどもの国の報告会を9月29日に行い、区長に提言書をまとめて渡すこととした。

こどもの国実施直後の考察から、1ヶ月間、多くのアイディアを考え直し、普段の暮らしと照らし合わせ、本当に必要な要素は何か、再検討をして、最終的に6つの提案に収斂させた。

- ① 公共施設の無料化
- ② 衣食住に困らないように
- ③ 子供が無料で遊べる施設
- ④ 墨田区の工場見学
- ⑤ 墨田名物を作る
- ⑥ 墨田区のアニメやドラマを作る



2024/9/29 子ども議員の活動報告と「墨田区への6つの提案」を区長に提言